

18歳意識調査 「第71回 -戦後80年-」 報告書

日本財団 2025年7月25日

目次

内容	ページ
調査概要	3
太平洋戦争についての学習経験	5
印象的だった学習内容	6
特に記憶にのこっている書籍/マンガ/映画	7
戦争体験者から直接話を聞いた経験	8
太平洋戦争について話題にする頻度	10
戦時中に関する認識	11
平和に関する行動についての考え	14
これからの日本が目指すべき国づくり	17

第71回18歳意識調査「戦後80年」 調査概要

調査対象

全国の17歳～19歳男女

回答数

1,000

※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男	169	169	175	513
女	160	161	166	487
計	329	330	341	1,000

実施期間

2025年 6月13日（金）～ 6月15日(日)

調査手法

インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

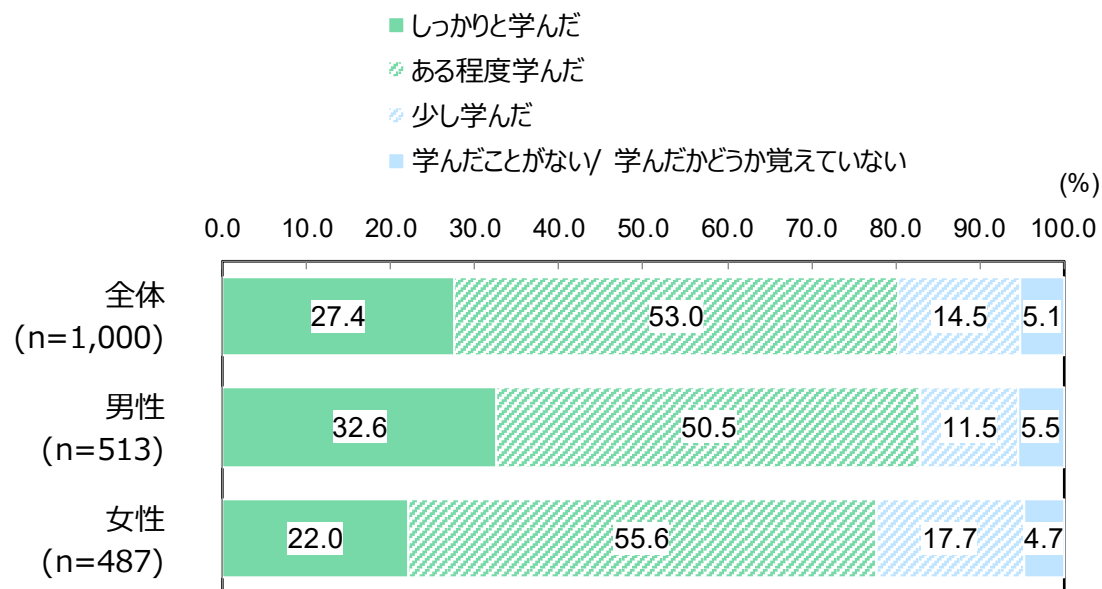
提示文章

2025年8月で、太平洋戦争の終結から80年が経過します。このことに関連してお聞きします。

太平洋戦争についての学習経験

全体で8割以上の人々が、「しっかりと学んだ」もしくは「ある程度学んだ」と回答した。

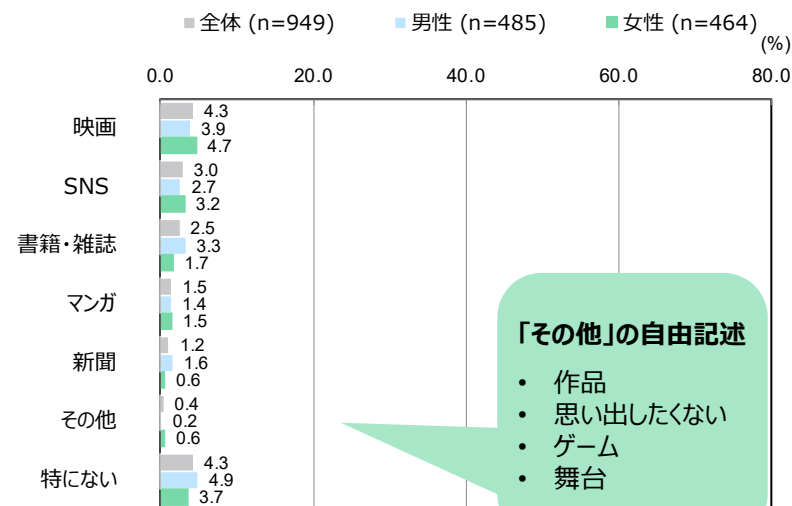
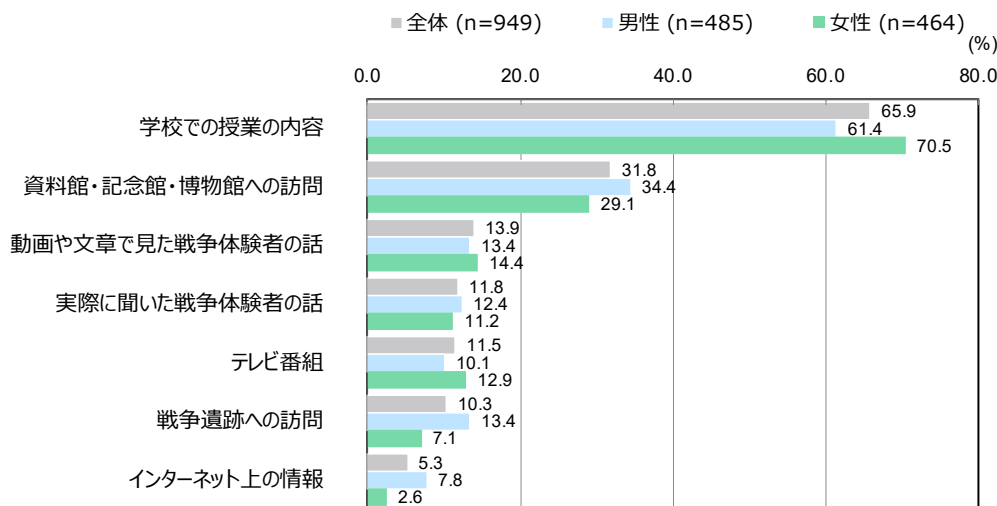
質問 1 : あなたは、これまで学校の授業などで太平洋戦争についてどの程度学んだ経験がありますか。(単一回答)



印象的だった学習内容

学んだ人のうち、印象的な学習内容で最も多かったのは、「学校の授業での内容」で全体の7割近くが選択。次点は、「資料館・記念館・博物館への訪問」で全体の約3割が選択した。

質問2：太平洋戦争に関して、学習や視聴、経験をしたもののうち、あなたに特に印象を与えたものを2つまで教えてください。（2つまで回答）



「その他」の自由記述

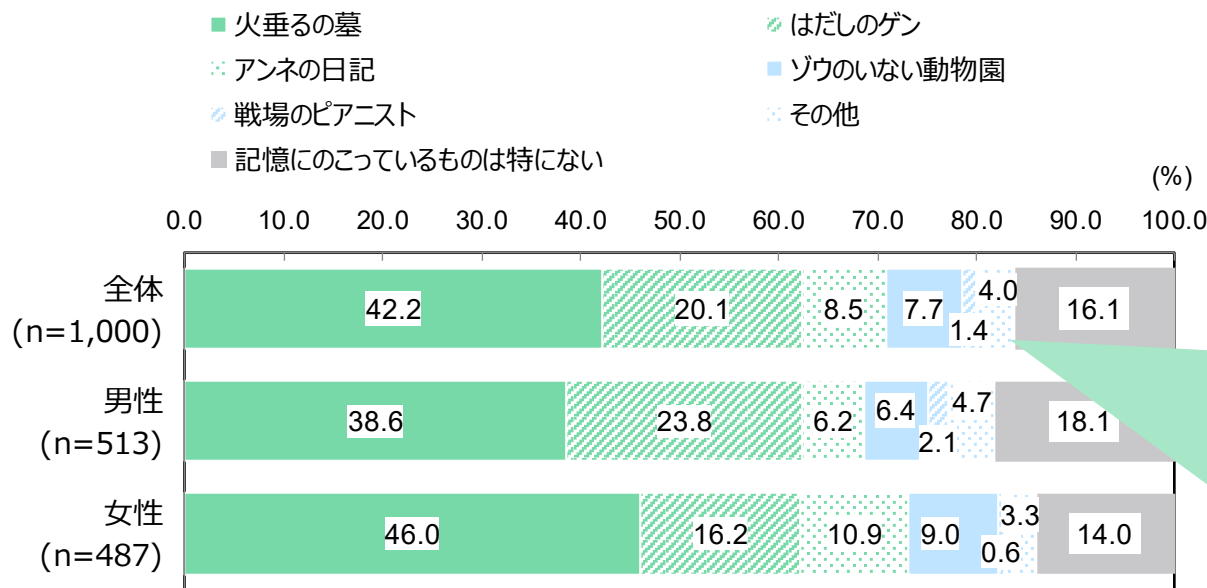
- 作品
- 思い出したくない
- ゲーム
- 舞台

※「その他」、「特にな」を除き、全体の降順で掲載。

特に記憶にのこっている書籍/マンガ/映画

全体の4割以上が「火垂るの墓」と回答し、約2割が「はだしのゲン」と回答した。

質問 3 : 次の太平洋戦争が題材となっている書籍／マンガ／映画のうち、特に記憶にのこっているものを1つ選んでください。(単一回答)



「その他」の自由記述

- The Cockpit
- あの花が咲く丘で君とまた出会えたら
- この世界の片隅に
- さとうきび畑の唄
- ちいちゃんのかげおくり
- ハクソーリッジ
- ひめゆりの塔
- ひろしま
- ふたりのイーダ
- ミッドウェイ
- ラーゲリより愛を込めて
- 映像の世紀
- 永遠の0
- 音速雷撃隊
- 月桃の花
- 戦艦武蔵の最後
- 対馬丸さようなら沖縄
- 島守の塔
- 特攻の島
- 硫黄島からの手紙
- 聯合艦隊司令長官山本五十六 太平洋戦争70年目の真実

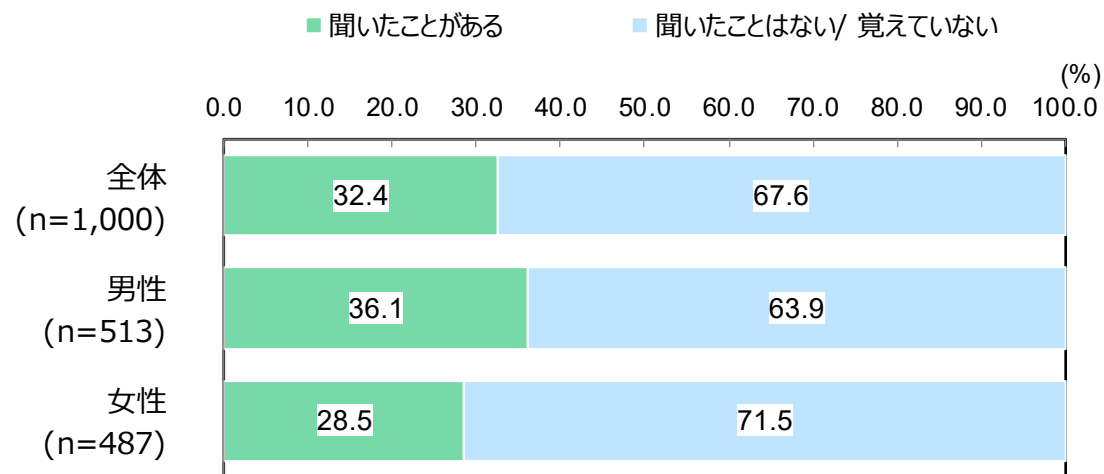
など

戦争体験者から直接話を聞いた経験①

「聞いたことがある」と回答したのは全体の約3割であった。

男女別に見ると、男性では4割近く、女性は3割未満が「聞いたことがある」と回答した。

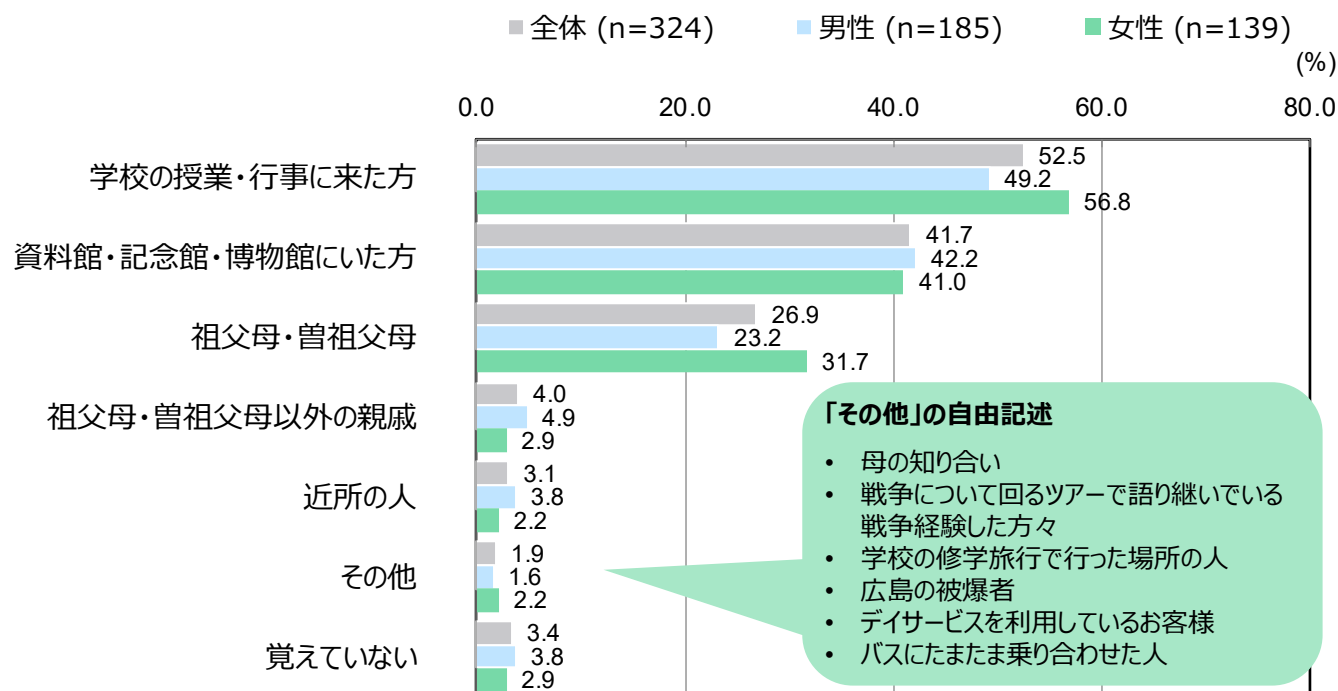
質問 4 : あなたはこれまでに、太平洋戦争の体験者と直接会って話を聞いたことがありますか。
(単一回答)



戦争体験者から直接話を聞いた経験②

戦争体験者から直接話を聞いた人にどんな方から話を聞いたかを尋ねたところ、最も多かったのは「学校の授業・行事に来た方」、次は「資料館・記念館・博物館にいた方」だった。「祖父母・曾祖父母」と回答した人は3割未満であった。

質問 5 : あなたが話を聞いた体験者はどんな方ですか。あてはまるものをすべて教えてください。
(複数回答)

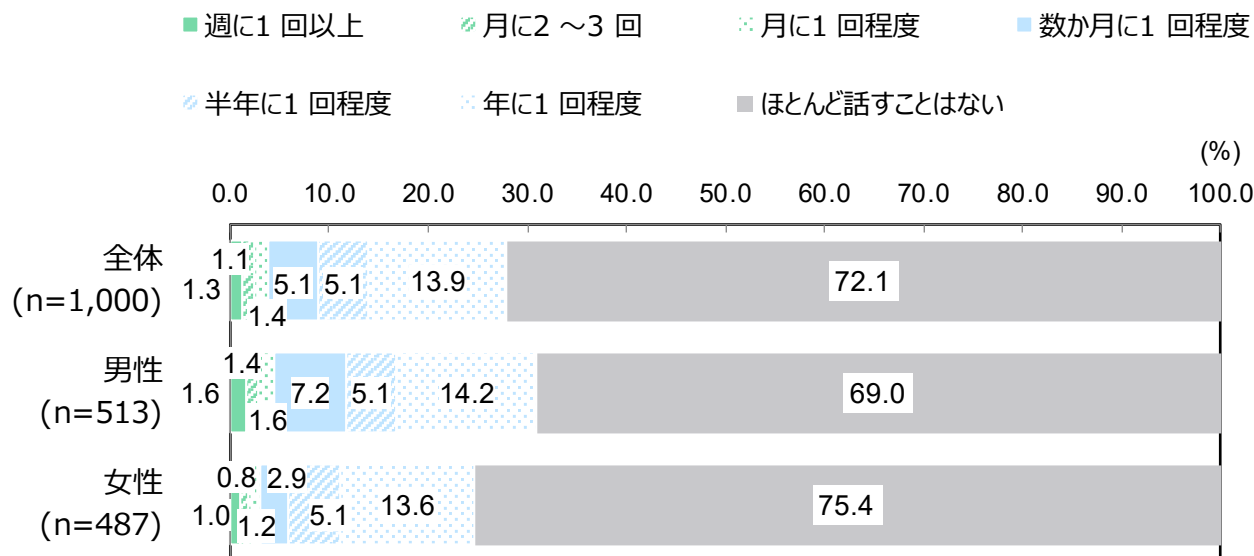


※「その他」、「覚えていない」を除き、全体の降順で掲載。

太平洋戦争について話題にする頻度

全体の7割以上が「ほとんど話すことはない」と回答し、「年1回程度」が次に多く全体の1割強であった。

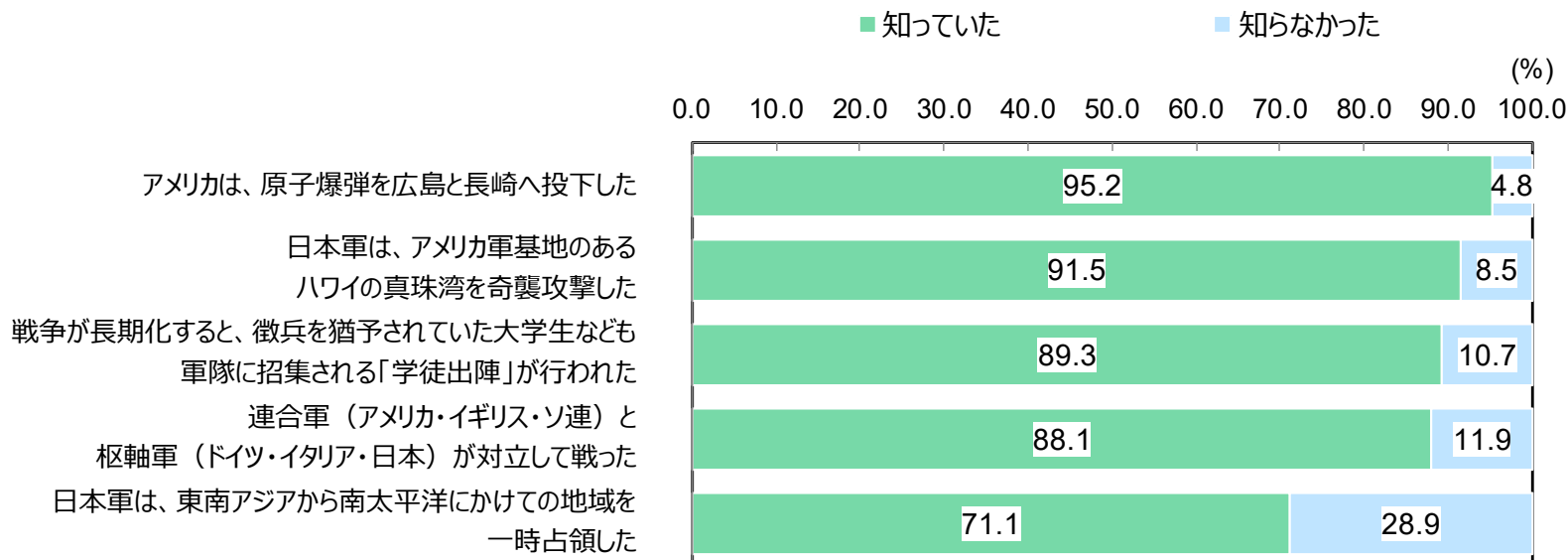
質問 6 : あなたは普段、授業や仕事以外の時間、家族や友人とどのくらいの頻度で太平洋戦争やその影響について話をしますか。(単一回答)



戦時中に関する認識（全体）

学徒出陣や、連合軍と枢軸軍の対立について全体の約1割が「知らなかった」と回答し、日本軍のアジア地域の一時占領については約3割が「知らなかった」と回答した。

質問 7：太平洋戦争について、次のことを知っていましたか。（項目ごとに単一回答）

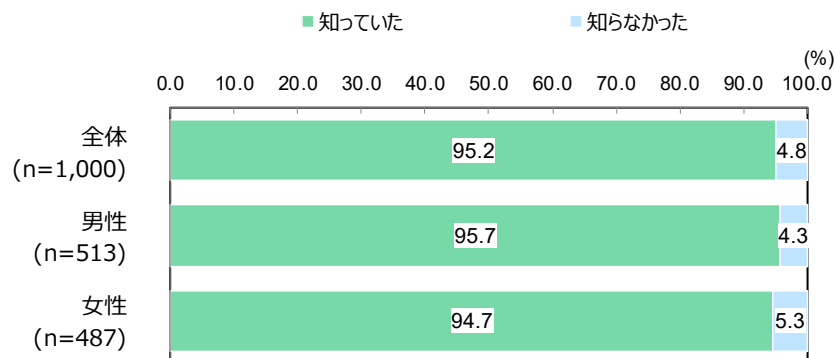


n=1,000

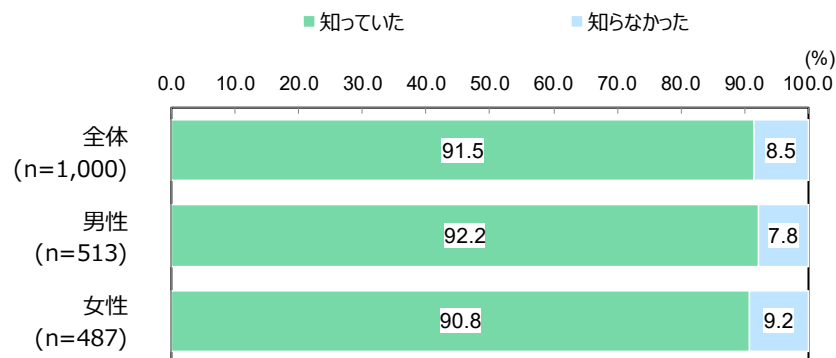
※全体のみ、「関心がある」の降順で掲載

戦時中に関する認識（詳細）

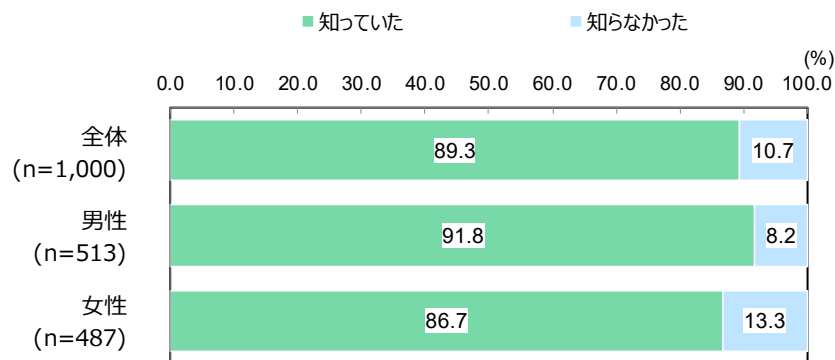
アメリカは、原子爆弾を広島と長崎へ投下した



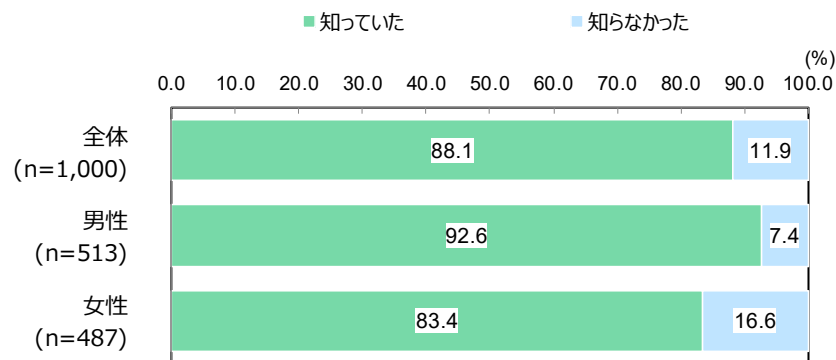
日本軍は、アメリカ軍基地のあるハワイの真珠湾を奇襲攻撃した



戦争が長期化すると、徴兵を猶予されていた大学生なども軍隊に招集する「学徒出陣」が行われた

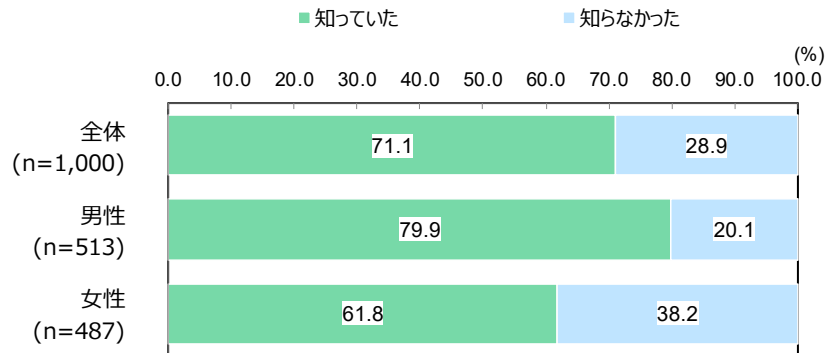


連合軍（アメリカ・イギリス・ソ連）と枢軸軍（ドイツ・イタリア・日本）が対立して戦った



戦時中に関する認識（詳細）

日本軍は、東南アジアから南太平洋にかけての地域を一時占領した

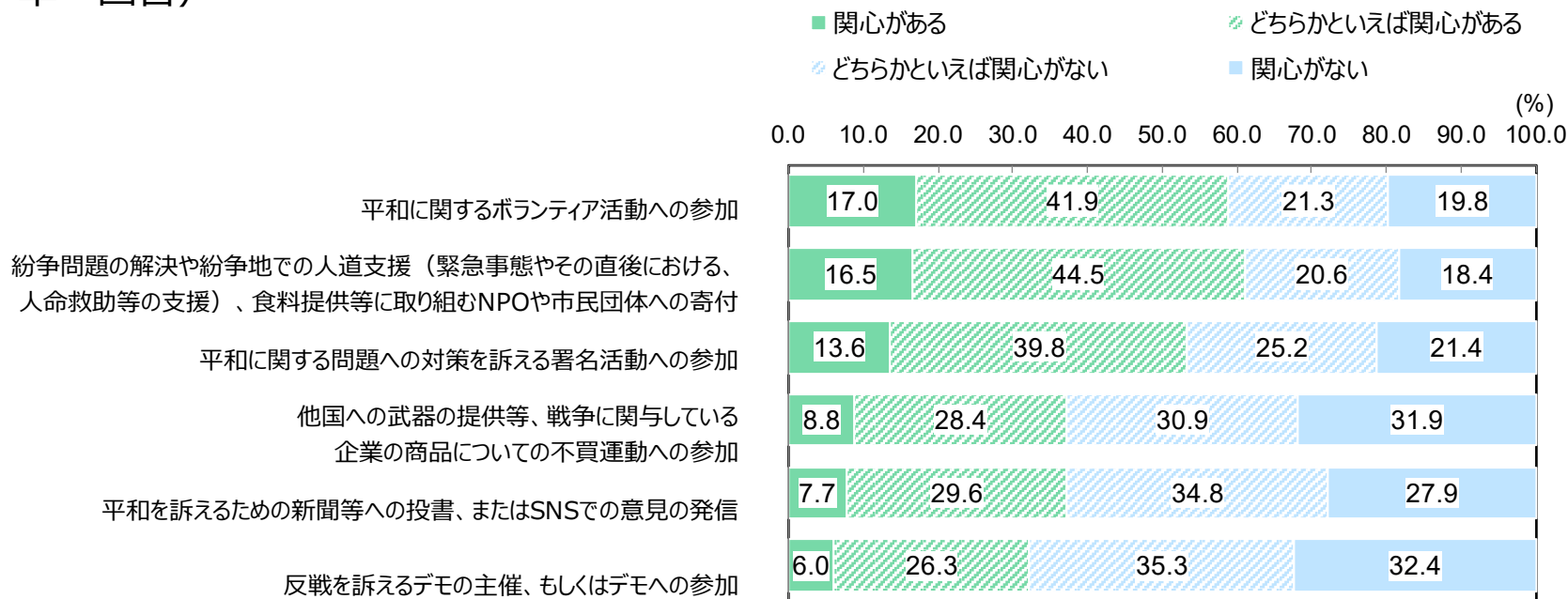


平和に関する行動についての考え（全体）

ボランティア活動への参加、NPOや市民団体への寄付、について全体の約6割が「関心がある」（※1）と回答した。他方、不買運動への参加、新聞等への投書、またはSNSでの意見の発信、デモの主催・デモへの参加については、6割以上が「関心がない」（※2）と回答した。

※1「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」の合計。 ※2「関心がない」、「どちらかといえば関心がない」の合計。

質問 8：次に示す行動について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。（項目ごとに単一回答）

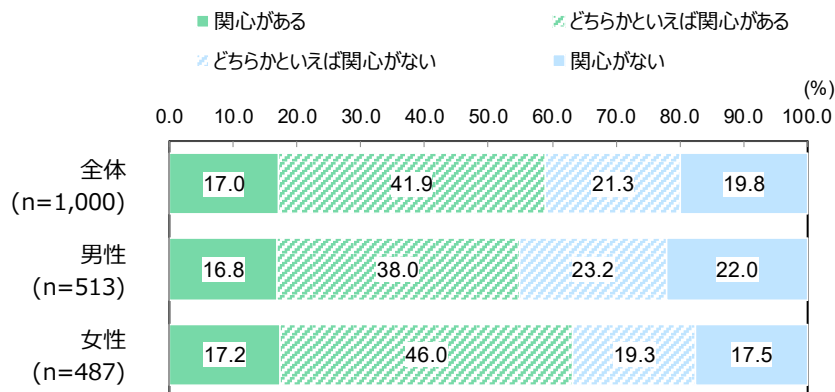


n=1,000

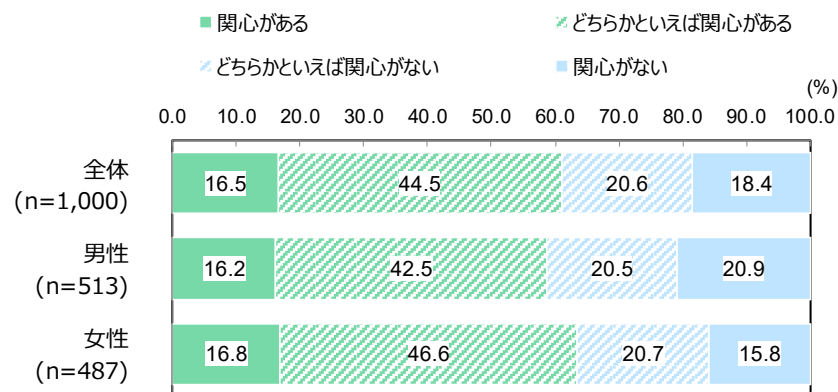
※全体のみ、「関心がある」の降順で掲載

平和に関する行動についての考え（詳細）

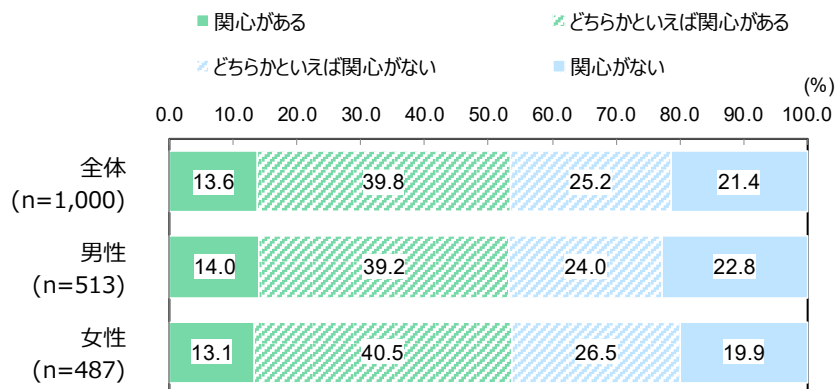
平和に関するボランティア活動への参加



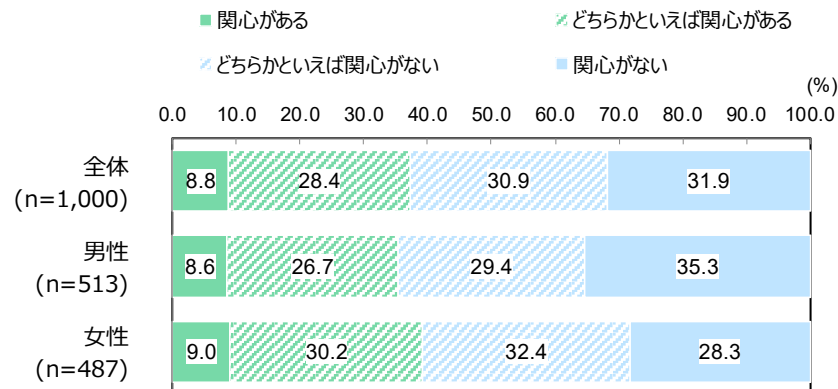
紛争問題の解決や紛争地での人道支援、食料提供等に取り組むNPOや市民団体への寄付



平和に関する問題への対策を訴える署名活動に参加

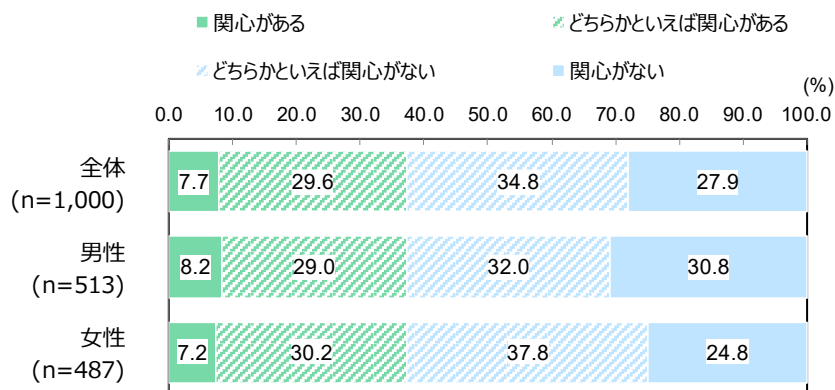


他国への武器の提供等、戦争に関与している企業の商品についての不買運動への参加

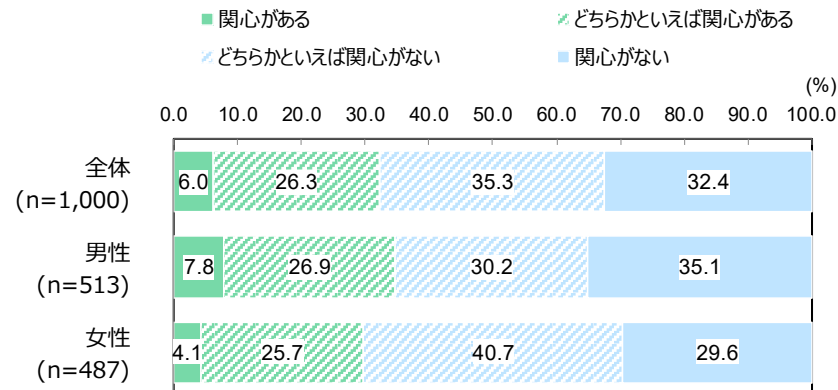


平和に関する行動についての考え（詳細）

平和を訴えるための新聞等への投書、またはSNSでの意見の発信



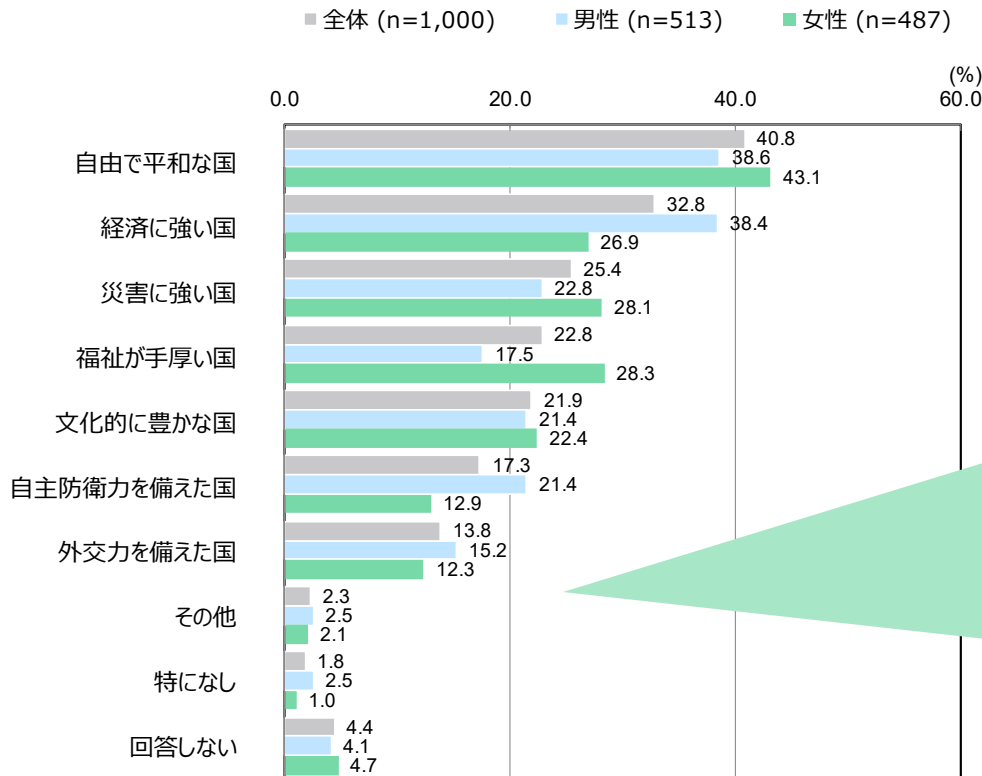
反戦を訴えるデモの主催、もしくはデモへの参加



これからの日本が目指すべき国づくり

最も多かったのは「自由で平和な国」で男女とも全体の約4割が選択。男性では「経済に強い国」が次に多く約4割が選択したが、女性では「福祉が手厚い国」が次に多く約3割が選択した。

質問 9：これからの日本はどのような国づくりを目指すべきだと思いますか。2 つまで教えてください。（2 つまで回答）



「その他」の自由記述

- 日本国民に優しい国
- エネルギーや食料を他国に依存していない国、自立している国
- 環境に優しい国
- 基本的人権を尊重する国
- 現在の国の問題に真摯に向き合い、国民のためになる政策を実現させる国
- 国民が苦しまない国
- 今よりまともな政治ができる国
- 子育てしやすく、子供を育てる基盤が整っている国
- 若者への支援が厚い国
- 政治家の給料を程よい量にする
- 政治家の不正がない国
- 政府が自分じゃなくて国の国民を守る国
- 正しく政治が行われる国
- 自殺者の出ない国
- 自衛隊が力を持つ
- 男女別学の高校を無理に共学化させようとしたり、現役の生徒たちの意見を汲み取ることもなく社会や情報の力を使って学生の活動を抑止するという考えを抱かない大人が中枢となる国
- いい人だけが得する国
- 2次元コンテンツを増やしていくべき

これからの日本が目指すべき国づくり (男女別けて掲載)

質問 9：これからの日本はどのような国づくりを目指すべきだと思いますか。2 つまで教えてください。（2 つまで回答）

